

【教科】国語科	【日時】 2月 6日（金）5校時	【生徒】 1年 6組 35名	【授業者】 内田 美穂子
江戸川区立小松川中学校 研究発表公開授業		「誰ひとり取り残さない、生徒一人一人の学力向上を図る教育実践」	

【単元名】文章を読んで考える よむYOMUワークシート 「国産茶なのに海外依存」 (全2時間)	学習過程	○主な学習活動・予想される生徒の気付きや反応	☆指導上の工夫
【単元目標】 「食料自給率」について自分の考えをもとう	<b>内容確認</b> <b>15分</b>	○よむYOMUワークシートの内容を確認する。 「食料自給率とは何でしょうか」 「食料自給率が高いものは何でしょうか」	☆ワークシートの内容と共に、社会（地理）で既習している「食料自給率」について確認する。 ※「米」や「卵」「きのこ」は食料自給率が高いことを確認する。
次 学習内容（時数） ◎本時 1 ワークシート読み取り（朝学習） 2◎ 記事の内容確認、話し合い活動	<b>展開</b> <b>意見共有 5分</b> <b>話し合い 10分</b> <b>クラス共有 10分</b>	話し合い：「米」の食糧自給率が高いことの良さを考えよう。（4人班）  ○考えを隣の生徒と共有する。 <ul style="list-style-type: none"><li>・米が主食として食べられていること。</li><li>・国が生産強化のための取組をしていること。</li><li>・国内生産に適した食物であること。など…</li></ul> ○「米の食糧自給率が高いことの良さは何でしょうか。」 安 全：自分の国で作るので、何が入っているかわかる。 暮らし：米食文化に合っている。 文 化：郷土料理を守り続けることができる。 環 境：輸送が楽なので、エネルギーの消費を抑えられる。	☆自分の体験や今までの学習等から考えを導き出す。  ☆「視点カード」を使って、多角的に考えさせる。 視点…安全・暮らし・文化・環境  ※意見が出ない班にはヒントカードを渡す。
【本時の目標】(2／2時) 社会（地理）の学習を基礎にして話し合いで考えを深めよう  【本時の評価】 「食料自給率」に対する自分の考えをもつことができる。 (観察・ワークシート)	<b>まとめ 10分</b>	○今日分かったこと、参考になった班員やクラスメイトの意見を記入する。	☆話し合いで考えが広がったり、深まったりすることを感じさせる。